（別紙３）

公表　放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	フォレスト			
○保護者評価実施期間	2025年4月25日		～	2025年4月29日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	17	（回答者数）	15
○従業者評価実施期間	2025年4月25日		～	2025年4月29日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答者数）	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	働く・自立するを見据えた「就労準備型」支援。	作業訓練や社会マナーだけでなく、その土台に必要となる常識や徳育、社会人になるために必要なあれもこれも。「これから働く」を前提とし、 1.徳育のための知育、知育のための脳育。 2.社会に出る前、最後の失敗『してもいい』練習場。今のうちに沢山間違え、成功の種まきをしよう。 3.毎日が体験実習。習うより慣れようの『型』作り。 これらをベースに全体的な取り組みを行っています。	利用者の方に合わせたプログラムの実施や支援の方法を日々精査し、ブラッシュアップしていく。
2	多種多様なプログラムを実施。	「覚えて、確実に実行する」膨大なルーティン、数十の作業系プログラム、認知力トレーニングから脳育、広範囲な分野の座学。これらを同世代集団療育という稀な環境を通じて、福祉ならではの視点で学び、習得できる環境をご用意しています。	利用者の方に合わせたプログラムの実施や支援の方法を日々精査し、ブラッシュアップしていく。
3	利用者の方の事業所内での様子や状況を、詳細にご連絡。	日々の連絡票やチャットアプリ等で、様々な状況や変化等を逐一情報共有するようにし、状態・今後の方向性の把握等、相互理解を図れるようにしている。	現状行っている情報共有の質を落とさないように留意し、また、利用者の方・保護者の方が意見等の発信を行いやすい状況を維持する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害時の対応等、安全面に関するの周知。	利用契約時に避難経路・避難場所・その他の対応マニュアルについての説明が不十分であったことが考えられる。	現状利用されている方に対しては改めて周知を行い、今後利用契約をされる方については契約時に十分に説明を行う。
2	地域行事への参加、地域の他児との交流等がない。	利用される方の住まいが近隣・一定ではなく、また、事業所が「就労準備」に重きを置いた活動を行っている為、行っていない。	要望があれば検討していく。
3	利用者の方が、通所を『楽しみ』であると感じられるとは限らない。	当事業所が自立・就労の訓練の場でもあるという特性上、遊び的な楽しさが第一とはなっていない為、『通所が楽しみになる』という感想を抱いていただけるとは限らないと思われる。今まで知らなかった知識や世界観の取得、出来なかったことが出来るようになってきたことの達成感等による自己効力感からくる楽しさを感じておられる方はいらっしゃる。	興味関心を持っていただけるようプログラムを創意工夫し、少しでもご利用者様の将来に関わる何かを経験・体験出来る有意義な時間を過ごしていただけるよう、今後も引き続き日々の支援に尽力する。